

長安口ダムの堆砂土砂を利用した防災拠点整備について (平谷地区防災ヘリポート整備)

那賀川上流に位置する那賀町は、広大な面積の中に集落が点在し、年間降水量が3,000mmを超える多雨地帯にあり、急峻な地形と脆弱な地質から、大雨や大地震時には大規模な山腹崩壊が想定され集落孤立化する恐れがあります。

災害発生時には、ヘリによる情報収集、住民の救出・救助活動及び集落への食糧・物資の搬入等が欠かせません。しかし、ほとんどの集落が山間地にあり、平地が非常に少ないため、緊急ヘリが離発着できるヘリポート適地が少なく、ヘリポートの整備が急がれます。

また、山間地であり急傾斜に建つ避難所が多く耐震化も遅れているため、情報収集と災害対応ができ避難所も備えた安全な防災拠点施設の整備も必要です。

これらの計画は、那賀町防災計画にも位置付け、進めているところです。

長安口ダムでは、長安口ダム改造事業の一環として、貯水池上流の堆砂土砂の除去を実施しています。

今回、防災ヘリポート整備の一つとし、長安口ダムの堆砂土砂を活用した防災対応離着陸用のヘリポートを、平谷中学校跡地(平谷地区)に新設する平谷保育園の南側に設置します。

完成は、平成23年3月を予定しています。

平成22年5月24日(月)

国土交通省四国地方整備局那賀川河川事務所
那賀町

問い合わせ先

○国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

電話(0884)22-6461

副所長 高橋 淳二 内線(204)

工事品質管理官 弘田 淳一 内線(302)

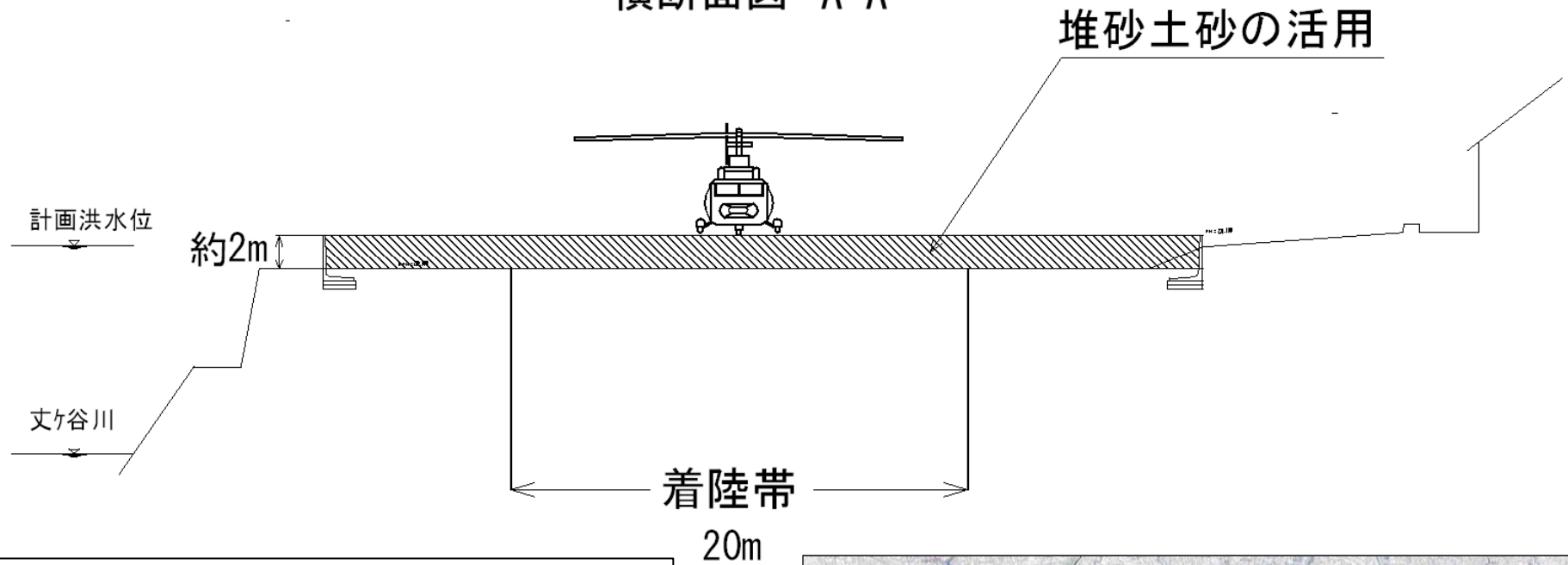
○那賀町 地域防災課

電話(0884)62-1183

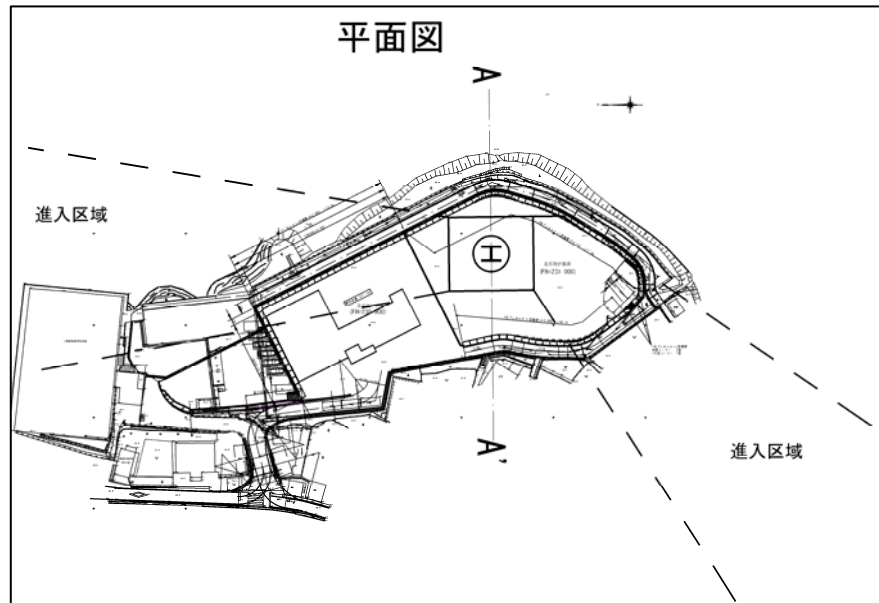
地域防災課長 西本 安廣

防災対応離着陸用ヘリポート

横断面図 A-A'



平面図



防災対応離着陸用ヘリポート設置箇所
(平谷中学校跡地(平谷地区))

